【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【公表番号】特表2001-527313(P2001-527313A)
【公表日】平成13年12月25日(2001.12.25)
【出願番号】特願2000-525976(P2000-525976)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｌ　7/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｌ　7/08　Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成17年11月16日(2005.11.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　出力周波数を生成する装置であって、
原周波数をフィードバック信号の関数として生成する原周波数源と、
周波数調整手段であって、前記原周波数源と共に動作するように結合され、前記原周波数を受け前記出力周波数を前記原周波数の関数として生成し、前記出力周波数を調整して前記出力周波数が前記原周波数（Ｆ）の高調波でも低調波でもないようにされ、よって前記フィードバック信号におけるロードプルを減少するように構成された前記周波数調整手段と
を有する出力周波数を生成する装置。
【請求項２】　前記周波数調整手段が、第１の倍率を有する乗算器と、第２の倍率を有する割り算器とを有することを特徴とする請求項１記載の出力周波数を生成する装置。
【請求項３】　前記第１の倍率が前記第２の倍率の整数倍でないことを特徴とする請求項２記載の出力周波数を生成する装置。
【請求項４】　前記第２の倍率が前記第１の倍率の整数倍でないことを特徴とする請求項３記載の出力周波数を生成する装置。
【請求項５】　出力周波数を生成する方法であって、
フィードバック信号の関数として原周波数を生成する原周波数源を用意し、
前記原周波数源と共に動作するように結合され、前記原周波数を受け前記出力周波数を前記原周波数の関数として生成する周波数調整装置を用意し、
前記出力周波数が前記原周波数（Ｆ）の高調波でも低調波でもないようにし、よって前記フィードバック信号におけるロードプルを減少するように前記出力周波数を調整する
ことを特徴とする出力周波数を生成する方法。
【請求項６】　前記調整する工程が、前記原周波数を第１の倍率で乗算する工程を有することを特徴とする請求項５記載の出力周波数を生成する方法。
【請求項７】　前記調整する工程はさらに、前記原周波数を第２の倍率で割り算する工程を有することを特徴とする請求項６記載の出力周波数を生成する方法。
【請求項８】　前記第１の倍率が前記第２の倍率の整数倍でないことを特徴とする請求項７記載の出力周波数を生成する方法。
【請求項９】　前記第２の倍率が前記第１の倍率の整数倍でないことを特徴とする請求項８記載の出力周波数を生成する方法。